

広報佐野日大

SANONICHIDAい



vol.
232
2022.5.31



TOPICS

- ・【入学式】 校長式辞、新入生の新たな門出
- ・【学校行事】 3年ぶりの遠足、新入生宿泊研修
- ・【進路】 大学合格状況
- ・【輝る 佐日旋風】 部活動の活躍

校長式辞



「自主創造」の生き方を

校長 渡邊 明男

日本大学の付属校である本校は、日本大学の土台をつくられた学祖山田顕義先生が学んだ、かの吉田松陰先生の松下村塾の教育の流れを受け継ぎ、「自主創造」「文武両道」「師弟同行」を校訓としています。

現代は変化が極めて激しい、グローバル化した社会となりました。2年以上続くコロナ禍や、国際情勢の不安などを始め、日本でそして世界中で、私たちが今まで経験したことのないような出来事が次々と起こっており、その傾向は今後益々加速していくでしょう。さらに人工知能や科学分野の発達に伴い、多くの仕事が自動化されていき、生徒の皆さんが社会で活躍する時代には、今までとは全く違った環境に身を置くこととなります。その様な社会で生き抜いていく皆さんは、今まで以上に自らの頭で考え、自ら行動していかなければなりません。しかし実はこれこそが、幕末、そして明治の大転換の時期を駆け抜けた吉田松陰先生や学祖山田顕義先生たちの生き様であり、日本大学そして本学園が掲げる「自主創造」なのであります。したがってこれからの時代を切り拓いていく皆さんにとってこの「自主創造」という精神は、一人ひとりが自己実現を果たし、充実した人生を歩んでいくための大切な土台となるのです。本校で学ぶ3年間で確りと身につけていただきたいと思います。

次に「文武両道」について。将来の希望進路の実現のため、皆さんは確かな学力をつける必要があります。しかし、その裏付けとして十分な体力と気力が大切であることは言うまでもありません。もちろんスポーツ面で高い志を持つ皆さんにも、真摯な態度で学業に臨むことを求めます。一事が万事。学業に対しての真剣な取り組みが、いざスポーツの真剣勝負の場で、大きな力となるはずですし、将来の可能性を広げることににもなるのです。生徒の皆さん一人ひとりが、「文」と「武」は表裏一体の関係にあるのだということを常に意識しながら、充実した生活を送って欲しいと思います。

「師弟同行」。これも松下村塾の伝統を受け継ぐもので、教師も生徒も同じ目線で、ともに学びともに成長していこうという姿勢がそこに示されているのです。私たち教師も新たな時代に生きていく生徒の皆さんと共に、常に研修に励み、一人ひとりを大切にしていけるよう大きな教育成果をあげられるよう努めて参ります。この佐野日本大学高等学校が「学びの共同体」としてさらに発展していくよう、皆で手を携えて前進していきましょう。

そのために、今、佐野日本大学高等学校では4つの教育の柱を掲げて取り組んでいます。一つ目は、一人ひとりの希望進路を実現するための基礎学力・応用力の育成です。日本大学の付属校である本校は、その強みを最大限に生かしつつ、日本大学をはじめ、それぞれの希望進路に応じて、学習指導、進路指導、生活指導のバランスをとりながら、全力で皆さんをサポートしていきます。

二つ目は ICT を活用した教育です。主体的・対話的で深い



学び、アクティブラーニングを実践するとともに、必要なメディアリテラシーを身につけ、これからの時代に活躍するための基礎基盤を確実なものとしします。

三つ目はグローバル教育です。現在コロナ禍により、海外との直接の交流は一時停止し、ICTを活用したオンラインでの交流を行っているところですが、状況が整い次第直ちに再開すべく、常に準備をしています。イギリス・アメリカ・ハンガリー・ニュージーランド・中国などの名門姉妹校・提携校との様々な交流プログラムは生徒の皆さんの大きな成長の糧となるでしょう。また、英語ディベートや校内での英語プレゼンテーションなどにもチャレンジできますし、ネイティブの英語の先生も2名常駐しています。新入生の皆さんも是非積極果敢に挑戦し、自らの可能性を発掘し、これからの時代に大きく活躍するための基礎をつくってください。

四つ目は探究学習です。本校は、すべての生徒の皆さんに、それぞれの興味関心に応じ1人1テーマで研究に取り組んでもらいます。科学的手法を用いて深く思考した研究の過程で、ロジカルシンキング、クリティカルシンキング、プレゼンテーション能力、ICTを活用する能力など社会に出て活躍するための基盤をつくと同時に、新たな大学入試に対応する力や、自らの希望進路をより明確にしていく力を育成していきます。

ところで皆さんが、本日この入学式の会場に来るときに本校正門入ってすぐの正面にある大きな赤御影石に気が付かれたでしょうか。そこに刻まれている文言、これから皆さんが3年間、毎日目にするであろう言葉を本日の入学に際し、お伝えいたします。

われの自覚この地に生じ
わが青春このとほろにひらく
三鴨山の樹々も声をあげよ
佐野の河原の小石も叫べ
母校は忘れがたい
昭和戊辰卯月
日本大学総長 高梨公之



ここ佐野の地にまつわる万葉集の東歌2首を踏まえつつ、激動のそして宝物のような素晴らしい高校時代を送るみなさんへのエールでもあります。

本校で学ぶ3年間で、充実した、そして忘れがたい素晴らしい日々となるよう願っています。

入学式にあたって



不確実性に立ち向かう

理事長 長谷川 弘

新入生の皆さん、私たち佐野日本大学学園は皆さんの入学を心より歓迎します。

さて現在、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は社会のあらゆる分野の改革を促し、学校教育も大きく変わろうとしています。また近年、海外子女の半数以上が日本人学校ではなく現地校やインターナショナルスクールを選択するなど(海外子女教育振興財団調べ)、多様性への志向はますます強くなっています。教育の「ゲームチェンジ」は、今まさに起ころうとしているのです。

その流れを受けて、私たちは従来のトップダウン型組織に多い「野球型」ではなく、教職員一人ひとりの自律性を重んじ主体的な行動を促進する「サッ

カー型」によるマネジメントを重視していくなど、経営戦略と体制・組織の再構築を進めています。また「パンデミックは危機管理である」と認識し、「学生・生徒と教職員の生命と健康を守る」、また「教育を確実に学生・生徒に届け続ける」ことを最優先課題に取り組み、新型コロナへの対応についても最小限のダメージに抑えられたと自負しています。ぜひ安心して、自分の学びに集中してください。

変化が激しく予測不可能な時代にあっては、データサイエンスの知識に基づいた新たな価値観の創造が不可欠です。そして優れたイノベーションは、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちが意見をぶつけあうことで、はじめて生まれるものなのです。学園の各学校は多様性の尊重と探究的な学習・研究を通じ、皆さんの学びを全力で支えていきます。

新入生の皆さんが、正解のない問題の解決策を考え抜くための「たくましい知性」と、ダイバーシティの発想に基づいた「しなやかな感性」を身につけ、現代の不確実性に立ち向かうことを大いに期待しています。

入学式 新入生の新たな門出

4月6日(水)、桜満開の春の日に、今年度の入学式が本校プラザ40で挙行された。昨年同様感染症対策を徹底し、保護者は各家庭1名までの参加となった。渡邊校長の入学許可に始まり、校長式辞、日本大学学長のご名代としてスポーツ科学部長の小山裕三先生による祝辞、また来賓を代表して横井帝之PTA会長よりお祝いの言葉をいただいた。新入生代表は川島里菜さん(1年・館林・第四中)が務めた。

He who would learn to fly one day must first learn to stand and walk and run and climb and dance ; one cannot fly into flying. (いつか空の飛び方を知りたいと思っている者は、まず立ち上がり、歩き、走り、登り、踊ることを学ばなければならない。その過程を飛ばして、飛ぶことはできないのだ。)というドイツの詩人であり哲学者でもあったフリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェの言葉を引き合いに、高い目標に向かって、一歩ずつ段階を踏んで努力していくことの大切さを胸に、本校で日々精進していきたいとの決意を述べた。



新入生代表
川島里菜さん

在校生代表として生徒会長の國生里蓮さん(3年・壬生・壬生中)が歓迎の言葉を述べ、新入生を温かく迎え入れた。式は滞りなく進み、閉式の後、渡邊校長による役教職員の紹介、また片岡副校長による学級担任の紹介が行われた。新入生は晴れやかな門出の日を迎え、これから始まる新しい学校生活への期待に胸を膨らませていた。

ポストコロナ ～新しい学校生活へ～

コロナウイルス感染症に対する規制が徐々に緩和されてきた中、感染予防対策を講じながら、行事や活動に積極的に取り組んでいます。校内、校外の学習や活動を通じて生徒たちの楽しそうな様子が見られ、学校生活も活気に満ちたものになっています。

3年ぶりに遠足に行ってきました！

4月27日(水)、遠足が行われた。各コースとも初めての遠足を楽しむ生徒の様子がみられた。

・行先・

特別進学コース【富岡製糸場・軽井沢プリンスショッピングプラザ】

スーパー進学コース【アクアワールド茨城県大洗水族館・国営ひたち海浜公園】

進学コース【那須ハイランドパーク】



新入生宿泊研修

4月12日(火)～13日(水) 特別進学コース・進学コースは新潟県湯沢町、スーパー進学コースは福島県二本松市にて新入生の宿泊研修が行われた。2日間の宿泊研修を通して、佐野日大での過ごし方をはじめ、学習の仕方、進路について考える時間が設けられ、たくさんのお話を学ぶことができた。また、クラスメイトとの交流を通して笑顔も見られるよい研修になった。



PTA定期総会 開催



5月19日(木)、3年ぶりにPTA定期総会が開催された。その後各クラスに分かれ、学級懇談会が行われた。



大学合格状況 2022

今年も授業や各種セミナー、課外授業等で努力を重ねた結果、国公立大学等35名、日本大学377名、難関私立大学等209名の合格者を出し、めざましい成果を収めた。

国公立大学 (大学校含む) 35名 合格

大阪大学(薬)、東北大学、筑波大学、東京学芸大学、防衛医科大学校(医1看3)、千葉大学、埼玉大学、宇都宮大学、群馬大学、横浜市立大学、福島県立医科大学等

日本大学 377名 合格

法20名、文理42名、経済25名、理工79名、獣医2名等

日本大学以外の難関私立大学等

早稲田大学2名、慶應義塾大学2名、GMARCH上理21名等 **209名 合格**

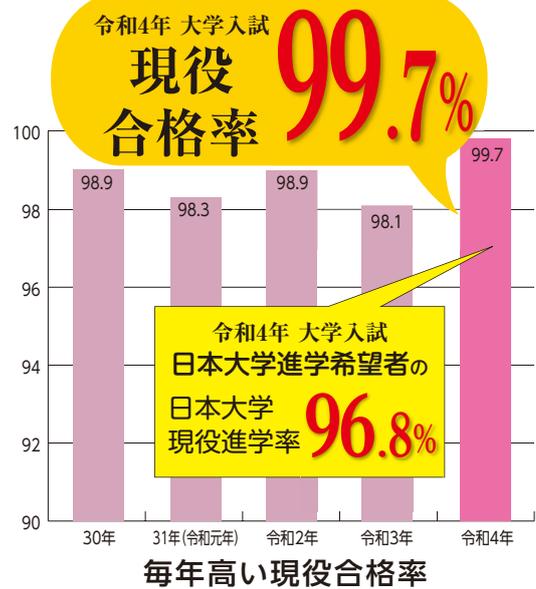
医歯薬獣医系大学学部 71名 合格

防衛医科大学校(医)など医2名、薬31名、獣医2名、歯9名、看護27名

大阪大学(薬)、
東北大学、
防衛医科大学校(医)、
日本大学など



令和4年 大学合格状況



国公立大学

大阪大学	1
東北大学	2
筑波大学	1
東京学芸大学	2
千葉大学	1
埼玉大学	1
宇都宮大学	1
群馬大学	3
信州大学	1
新潟大学	1
秋田大学	2
横浜市立大学	1
福島県立医科大学	1
前橋工科大学	4
防衛大学校	1
防衛医科大学校	4
等	

日本大学

法学部	20
文理学部	42
経済学部	25
商学部	18
芸術学部	3
国際関係学部	19
危機管理学部	5
スポーツ科学部	1
理工学部	79
生産工学部	58
工学部	34
歯学部	2
松戸歯学部	6
生物資源科学部	47
薬学部	10
等	

私立大学

早稲田大学	2
慶應義塾大学	2
上智大学	2
東京理科大学	5
立教大学	1
中央大学	4
法政大学	5
学習院大学	1
青山学院大学	3
同志社大学	1
関西学院大学	1
立命館大学	2
芝浦工業大学	6
獨協医科大学(医)	1
東京薬科大学	2
自治医科大学(看護)	1
等	

* 高校担任 *

※=学年主任

年	特別進学コース				スーパー進学コース				進学コース							
	部長	1	2	3	4	部長	5	6	7	8	部長	9	10	11	12	
1		五十嵐	石崎	岡部	岡田		菱沼	横畑	塚越	小笠原		今井	篠崎	平田		
2	君島	1	2	3		齋藤	4	5	6	7	8	町田	9	10	11	12
3	淳	伊東	和田	大木		芳幸	中村	佐佐	森	種里	日景	裕之	木村	永田	高瀬	板橋
年		君島	野中	高瀬	吹沢		平野	今井	金子	福田			芳賀	野正	植木	青柳

* 高校 主な分掌 *

高等学校 校長	渡邊	明男
高等学校 副校長	片岡	哲哉
高等学校 教頭	高原	健治
〃	岩崎	浩士
スーパー進学コース 教務研修部担当主事	齋藤	芳幸
進学コース 生活健康指導部担当主事	町田	裕之
入試室担当主事	田邊	健

ひか 輝る 佐野日大 旋風

～部活動等の活躍～

陸上部 山口彰太さん 大会新記録で優勝!



4月15日(金)、カンセキスタジアムとちぎにて、第68回県春季大会が行われ、山口彰太さん(3年・足利・第二中)が1500mに出場し、3分52秒11の大会新記録をたたき出し、見事優勝した。

剣道部 全国大会で躍動! ベスト 16 !!



3月26日(土)～28日(月)、春日井市総合体育館(愛知県)で第31回全国高等学校剣道選抜大会に出場し、見事男子団体でベスト16の成績を取めた。また、土井康頌(3年・川口・芝中)が優秀選手に選ばれた。

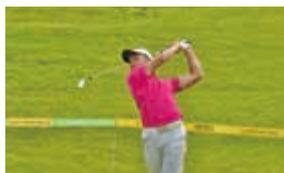
チアリーディング部 Non-Building 部門 第1位!



3月25日(金) USA JAPAN School & College Nationals 2022 高校編成 Show Cheerleading Non-Building 部門に出場。第1位のブルーリボンと賞状を獲得した。

ゴルフ部 松澤虎大さん 全国大会出場!

3月23日(水)～25日(金)、オリムピックゴルフ倶楽部(兵庫県)にて松澤虎大さん(3年・石岡・石岡中)が全国高校選手権春季大会に出場した。



まちづくり部 市役所でプレゼンテーション



3月11日(金)、佐野市役所で地域活性化を目的とした佐野市のまちづくりについてのプレゼンテーションを行った。



● 関東大会出場 ●

速報

おめでとうっぴい!!



硬式野球部

サッカー部

剣道部 (団体)

剣道部 (個人)

高村慎之助 (3年・練馬・関中)
増森 勇輝 (3年・あきる野・秋多中)
西野 聡 (3年・小山・小山第三中)

ラグビー部

陸上競技部

1500m 山口 聡太 (3年・足利・第二中)
長岡 蓮人 (3年・益子・益子中)
5000m 山口 聡太
大屋 涉悟 (3年・羽生・南中)
3000mSC 木村 蒼希 (3年・下野・石橋中)
石川 悠斗 (2年・真岡・真岡東中)
5000mW 小川 駿祐 (3年・羽生・南中)
走高跳 松田 永遠 (3年・真岡・真岡東中)
走幅跳 太田 七海 (3年・太田・城東中)
三段跳 櫻井アノン (2年・那須塩原・黒磯北中)
棒高跳 坂上 凛璃 (2年・加須・加須西中)
400m H 山本 実希 (1年・足利・第二中)

ゴルフ部 (男子団体)

ゴルフ部 (個人)

男子 松澤 虎大
下村 剛 (2年・江戸川・篠崎中)
島津 翔太 (1年・笠間・友部中)
栗田 元 (3年・結城・結城中)
井上 笑慈 (1年・伊勢崎・あずま中)
女子 五十嵐 優 (2年・練馬・大泉学園中)
山本 実希
角田 愛理 (2年・鹿沼・北中)

軟式野球部

編集
後記

対面型の入学式に、久しぶりの新入生宿泊研修や遠足、定期総会。そして部活動の大会等…。生徒たちの歓喜の声と活気に溢れる昨今の学び舎は、一層の輝きを放っているように感じられる。令和4年度。それぞれの目標に向かい、ともに進もう。

広報佐野日大 VOL.232

佐野日本大学高等学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111代 <https://high.sano-nichidai.jp/>